



がんば

【第160号】

発行 島原市立第三
小学校育友会
編集 広報部
印刷 正光印刷



平成10年4月

「心に太陽をもて」
校長 坂庭 克雅

卒業おめでとう
「生き生き島三小」
「はくさん運動」を合い言葉に
がんばった皆さんに
次のことばを贈ります
「勇気を失うな
くちびるに歌をもて
心に太陽をもて」
皆さんの活躍を期待しています



おめでとう！

<p>六年一組</p> <p>卒業は 中学生への たのびたち 松田 穂香</p>		<p>卒業は 小学校 卒業式は かなしいな 石山 天輔</p>		<p>友達よ 六年間も ありかとう 松尾 俊輝</p>		<p>できるだけ 多くの事を 思い出と 伊藤 雅史</p>		<p>桜吹く 春も近づくと 旅立ちの時 山口 沙織</p>		<p>旅立つ日 この校舎とも おわかれだ 諸田 由紀</p>		<p>校舎とも 卒業したら おわかれだ 大平 朝海</p>		<p>さいごだ 小学校 さようなら 木村 優</p>					
<p>羽ひろげ 光る未来へ 飛びたとう 中村 美里</p>		<p>さようなら わたしの三小 あすれな 中田 莉香</p>		<p>卒業は 六年間を たすところ 中村 あや</p>		<p>また一歩 大人に近づくと 卒業まで 本田 佳織</p>		<p>小学校 思い出いっぱい ありがとう 児玉 恵利奈</p>		<p>6年間 すごした校舎と おわかれだ 中西 由樹</p>		<p>友達よ 未来へ舞う わたしたち 中村 女子</p>		<p>学校も もうさよなら 卒業まで 金丸 梅太</p>		<p>小学校 今日でおわかれ さようなら 田浦 優子</p>		<p>ランドセル 1年ぶりに ふるくなる 江川 周平</p>	
<p>小学校 入ったころを 思い出す 上田 聖平</p>		<p>もうすぐで この三小とも お別れだ 山下 成</p>		<p>つづれている 思い出ころ ランドセル 村上 裕城</p>		<p>卒業まで あとさよなら 卒業まで 前田 京大</p>		<p>卒業式 6年間の 精が出る 前田 周堂</p>		<p>またこんど みんなとっしょ 3年間 本多 潤一</p>		<p>ほんとうに 楽しかった 6年間 鎌田 貴</p>		<p>学校も あとさよなら さよふなら 安藤 翔太</p>		<p>ありがとう みんなの笑顔が 宝物 横水 剛</p>		<p>ランドセル 6年間の おもいでだ 大平 拓真</p>	

<p>六年一組</p> <p>思い出の アルバムを持ち 中学生 上田 聖平</p>		<p>初めての 制服着るの 楽しみな 大橋 裕美</p>		<p>中学校 クラブ活動 楽しみな 坂本 俊</p>		<p>忘れな 思い出 6年間 田中 聖太</p>		<p>思い出が たくさんあった 小学校 中山 美香</p>		<p>卒業で ぼくの心は 非だしい 藤原 祥</p>		<p>感動と 涙あつての 卒業式 森本 豆</p>		<p>クラスが だれになるか たのしみだ 吉田 一</p>	
<p>思い出は 中学校でも 忘れな 東 せな</p>		<p>中学校 入学式が 楽しみな 梅田 志久</p>		<p>入学から 早く終わった 6年間 下田 史也</p>		<p>春の花 舞い散る道ゆく 卒業生 田中 聖太</p>		<p>親子キャンプ 長けた階段 まっかた 法川 勇太郎</p>		<p>卒業し 友達おつと かわらない 前田 聖</p>		<p>卒業式 思い出胸に 歩いてく 山本 真実</p>		<p>先生と 最後の一日 卒業式 吉田 紘也</p>	
<p>中学生 少し大人に ちがった 安達 留美</p>		<p>制服の サイズを測り さびしいな 大浦 早貴</p>		<p>卒業式 桜の花びら まよいおちる 近藤 地</p>		<p>夢のせて 春風ふくよ 大空へ 谷 賢次郎</p>		<p>6年生 クラスの仲間 たれな 濱崎 有紀</p>		<p>卒業式 みんな涙を 流すたろう 三宅 孝聖</p>		<p>卒業は 中学校への 第一歩 岩田 裕介</p>		<p>別れの日 笑顔で送る 父と母 中村 泰樹</p>	

<p>思い出も いつみんまで 思い出えい 山本里紗</p>	<p>友達 みんな明るい 光の輪 宮崎稔樹</p>	<p>春になり 出会いと別れの この季節 宮崎稔樹</p>	<p>思い出の二つ一つが 宝物 本内保奈美</p>	<p>小学校 思い出深し 六年間 中村彰孝</p>	<p>六年間 友達たくさん できたよな 谷口光子</p>	<p>なにげなく いつもちがう 部屋の外 下田一美</p>	<p>小学校 毎日全が 宝物 児玉真莉奈</p>	<p>桜咲き 二つのわかれ 二つの出会い 今井沙希</p>	<p>G-3 卒業俳句</p>
<p>友だちと すごした日々を 思い出す 吉岡孝浩</p>	<p>いつまでも 小学生な 気がした 山本 茜</p>	<p>小学校 あつというまの 六年間 宮本和音</p>	<p>教室に 思い出が あふれる 本内保奈美</p>	<p>中学校 だれとなるかな クラスかえ 中村明美</p>	<p>たくさん 思い出持 中学校 種村優香</p>	<p>思い出を たくさん持 中学へ 園田彩加</p>	<p>六年間 いろんな人 遊んだ 酒井志桜里</p>	<p>中学校 友達 でさるかな 梅田裕太</p>	<p>もう一度 修学旅行 磯野慶司郎</p>
<p>卒業は、 大人への 第一歩 山本一</p>	<p>卒業は、 大人への 第一歩 山本一</p>	<p>友達と はしゃいで 遊んだ 小学校 松尾達馬</p>	<p>友達と みんなの笑顔 たれない 福田和貴</p>	<p>中学校 きぼうの道へ つきすすむ 中間正藏</p>	<p>卒業の 先に希望の 花満開 高田 碧</p>	<p>卒業の 先を 中学校 島田孝太郎</p>	<p>中学校 ちゃんとい でさるかな 金丸亮太</p>	<p>思い出は みんな 伊藤裕徳</p>	<p>2004 3.22</p>

卒業記念

やきものづくり

六年一組 山口 沙織
私、やきものづくりで一番難しかったことは、とつての部分です。形をととのえるのが難しかったです。
今度作る時は、もう少し、形を考えて作りたいです。



六年二組 大場 絵里奈
今日、五校時に白山っ子広場で作ったカップの名前書きがありました。名前は「大」以外平仮名にしました。書く時も少し手がふるえて「2」を書く時、「2」つぼくなりました。でも、でき上がりが楽しみです!!

六年三組 今井 沙希
白山っ子広場のやきものづくりに参加した。つくるところが難しく、少し失敗したけれど、それも小学校卒業の記念だと思ってくれた。絵つけでは、名前などの字をていねいに書いた。でき上がりがどうなるか楽しみだ。でき上がったら大切にしたい。



学級対抗 マラソンリレー

一組 二時間二十四分三秒
二組 二時間二十四分四秒
三組 二時間二十一分八秒
完走しました!
(タイムは重視しないでください。
六年担任より)



綱引き大会

12/21

【低学年・保護者の部】

優勝 浦田元船津A
準優勝 霊南
三位 坂上

【高学年の部】

優勝 新山一丁目A
準優勝 津町有馬船津A
三位 白土桃山A



昔の遊びに挑戦

1/29

《あやこい》

一年一組 みねともあおい

あやとりは、とつてもおもしろかったし、ちよつとむずかしかったです。おばあちゃんにおしえてもらつて、あやとりがだいすきになりました。もつとじょうずになりたいです。

《竹うま》

一年二組 おがたりようこ

わたしは、竹うまのつてたかいののつたらみんなから「じょうずね。」といわれました。そして、おばあちゃんにもつてもらつてのりました。おもしろかったです。

おじいちゃん

おはあちゃんの声

★むかしのあそびに参加させて頂き楽しいひとときでした。竹とんぼ、竹馬。初めはできなかつた子供がすぐに上手になり、ここまで飛んだよ、ここまで歩けたよの言葉に、こちらまでうれしくなりました。

★二十数年ぶりに手にするあやとり糸。当日、子ども達と仲良く遊べるか不安に思いつつ体育館へ。好きな事をする時の子ども達のいきいきとした目の輝き、姿を再認識しました。



福祉体験

1/29



五年一組 望月 恵

「目が見えなくても、耳で音が聞こえる。耳が聞こえなくても、目が見える。足が不自由でも、目が見えるし、音も聞ける。みんなどこかは不自由だ。そこでできる何かをすればよい。」私は、人はみないつしよだと思いました。

保護者 高野内 靖 子

子供をとおして福祉について知らなかつたことを色々知ることができ、まだ体の不自由な人にとつて住みにくい町なんだと思ひました。これから子供と一緒にたくさん勉強しなければいけないことがあるなど実感しました。

五年二組 谷 口 允佳子

手話は、耳の聞こえない人にとつて、とても大切な「心の言葉」という事がわかりました。吉田さ

んの話を聞いて、お年よりや体の不自由な人、困っている人がいたら、声をかけて、すぐに助けてあげたいです。

保護者 芥 貴美子

私達より、はるかに福祉について詳しくかつた子ども達に感心しました。そして何より、障害のある方に対して偏見の目を向けていない子ども達のをうれしく思いました。

1/2 成人式

2/26

四年一組 松崎 加良子

十年間のあゆみや将来の夢の発表など、楽しかつたけど少しきんちようしました。だけど、成人になるまでの思い出になりました。これからも自分の命を大切に、夢にむかつてがんばりたいと思います。

四年二組 力 田 竜乃介

司会や十年間のあゆみや将来の夢を言うとき緊張しました。でも、合奏も含めて1-2成人式が全部成功したから、うれしかつたです。これからも、まわりの人に励まされながら一生懸命がんばつていきたいと思ひました。

保護者 伊藤 由美

みんなしつかり自分の夢を持つていて、頼もしいやら可愛いやら。二年後には小学校も卒業だし、この先の十年も多分あつという間に



過ぎてしまうことでしようね。素晴らしい記念をありがとう。

保護者 宮本 美香

初めて1-2成人式を見させてもらい、子どもの成長した姿、今までの十年間をふりかえり、思わず涙が出そうになりました。元気にここまで成長してくれてありがとうと思ひ気持ちでいっぱいになりました。とても感動した一日でした。

編集後記

早いもので子ども達は、卒業を迎え、「がんば」は本年度最後の発行となりました。

一年間、皆様によりやすく楽しんで頂ける広報紙作りを目指してきましたが、いかがでしたでしょうか？

企画、編集、校正と会合を重ね、三回の「がんば」と二回の号外を発行出来ました。これも皆様のお陰と深く感謝しております。ありがとうございました。(松田)